

unicef

ユニセフと地球の子どもたち ⑬

http://www.unicef.or.jp

東ティモール

The Democratic Republic of
Timor-Leste

希望に輝く子どもたち
新しい国の未来をになう

東ティモールは二〇〇二年五月にできた、世界で一番新しい国だ。十四歳の女の子、マルタさんは、おそろしい混乱の時期を乗り越えて、まわりの人たちのあたたかい応援と自分の努力で、希望に向かってがんばっている。子どもたちひとりひとりが、これからの東ティモールの未来をつくっていくんだからね。

みなさんは東ティモールという国を知っていますか？ 国ができてから、まだ二年しかたっていない。

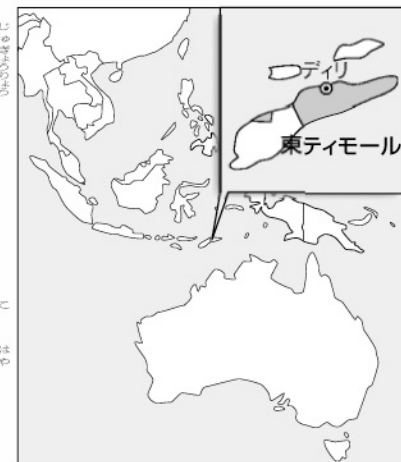
数年前、東ティモールはインドネシアから独立するかどうかを決める住民投票という手つづきの後、国中が混乱状態になりました。独立に反対した人たちがいたからです。たくさんの方が殺され、難民が生まれるなど治安が悪化して、とてもこわくて、わたしの家族は山の中にげました。

混乱が落ち着いても、とても怖くてくる、と、家は

みんなの応援で「優秀学生」に星にねがい：先生になりたい



希望に目をかがやかせて学ぶ東ティモールの子どもたち ©日本ユニセフ協会



焼かれてしまっていて、何もかもこわされていました。目の前の光景が信じられなくて、涙があふれてきました。でも、家族みんなで協力して家を建てなおして、やっと生活が落ち着いてきたとき、わたしは妹といっしょに、ユニセフの支援を受けて修復された小学校へ、また通うことができました。

学費の足しに自分でも働く卒業が近づいたある日、「子どもたち

の授業料とマルタの卒業試験の受験料を何とかしなくては……」と両親が相談しているのを聞いてしまいました。両親の苦労を初めて知って、わたしは心配でたまらなくなり、森でまきを集めて売り、お父さんの畑でお手伝い、家族の負担を減らした。学校に入学することができたのです。

先生が両親を説得し中学へ「わたし、もっと学校で勉強

東ティモールで小学校に通っている子どもの割合



(「世界子供白書2004」から)

世界のすべての子どもは「権利」をもち、「子どもの権利条約」に守られています。

第六条【生きる権利・育つ権利】は、すべての子どもが平和に暮らし、十分な

栄養をとり、病気を治すために、できるかぎりのことをしなければなりません。マルタさんは、きびしい生活にもくじけずに元気に育ち、自分の夢に向かって力いっぱいがんばっています。

もっと知りたーい！

日本もユニセフの支援を受けたことがあるんですか？

みなさんのおじいさん、おばあさんが子どものころ、日本は第二次世界大戦という戦争で大きな被害を受けました。戦後は食べ物も着る物も、何もかも不足して、人々はまじまじと、つらい生活をしていました。

戦災で苦しかった時代 脱脂粉乳などを15年間

日本の発展は、世界中の人々からのあたたかい支援のおかげで元気に育った子どもたち

日本も支援受けたの？

き、日本は一九四九～六四年の十五年間、ユニセフから脱脂粉乳、着る物をつくるための原綿、医薬品など、当時の金額で約六十五億円もの支援を受けたので

ねがいでから結婚させないで。お手伝いをするから。おねがいよ。一生懸命に両親にたのみました。が、ねがいは聞いてもらえませんでした。とうとうあきらめかけたとき、学校の先生が「女の子でも夢をもつてがんばれば、世の中のために仕事をする事ができます。そのためには学校で勉強することが必要です」と、わたしの夢を理解して、両親を説得してくれました。

わたしは毎晩、きらきらかがやく星を見上げながら、星にねがいをかけています。「これから勉強をつづけられて、きっと先生になれますように」って。

わたしは去年、ユニセフの支援活動を見つめるために東ティモールをおとすれました。見ました。本当に起っていい問題が、女の子の結婚させないでほしい、女の子の勉強の必要、など内容はいろいろです。

森多江子さん

日本ユニセフ協会
展示ボランティア

森多江子さん

権利」を学べるのです。東ティモールにはテレビやラジオのない家が多く、文字の読み書きができない大人も多くいるので、劇は情報をつたえるよい手段です。

校庭で劇を演じた高校生と森さん(右から二人目)

©日本ユニセフ協会

わたしは去年、ユニセフの支援活動を見つめるために東ティモールをおとすれました。見ました。本当に起っていい問題が、女の子の結婚させないでほしい、女の子の勉強の必要、など内容はいろいろです。

劇を見て、子ども

わたしは去年、ユニセフの支援活動を見つめるために東ティモールをおとすれました。見ました。本当に起っていい問題が、女の子の結婚させないでほしい、女の子の勉強の必要、など内容はいろいろです。

東ティモールで子どもの権利訴える劇

い、女の子の勉強の必要、など内容はいろいろです。

校庭で劇を演じた高校生と森さん(右から二人目)

©日本ユニセフ協会

わたしは去年、ユニセフの支援活動を見つめるために東ティモールをおとすれました。見ました。本当に起っていい問題が、女の子の結婚させないでほしい、女の子の勉強の必要、など内容はいろいろです。

劇を見て、子ども

わたしは去年、ユニセフの支援活動を見つめるために東ティモールをおとすれました。見ました。本当に起っていい問題が、女の子の結婚させないでほしい、女の子の勉強の必要、など内容はいろいろです。